

信濃美術館の実施設計にかかる 意見交換会（子育て世代等）の概要

日 時：平成 30 年 5 月 30 日（水）午後 1 時 10 分から 1 時 55 分

場 所：長野市立城山小学校 多目的室

出席者：(株)プランツアソシエイツ 代表取締役 宮崎浩氏

信濃美術館 松本透館長

長野県 日向修一信濃美術館整備室長、塩入一臣施設課企画幹

参加者：15 名

概 要

[意見交換テーマ]

○交流スペース等の無料ゾーン

[主な意見等]

【設計関連】

- 屋上広場は、東側道路から自然に入っていけるように緑を植えて木陰をつくったらどうか。
- 外観の色彩等がどのようなイメージになるのか知りたい。
- 屋上広場は、眺望やデザインに配慮しつつ、子どもが転落しないようなつくりにしてほしい。
- 美術館のガラス面から明かりが漏れていると夜に公園を歩いても怖くない。
- 子ども向けの展覧会は、親はそんなに楽しくない。子ども向けの展覧会ばかりではなく、大人向けの展覧会に子どもが行けるような空間ができるとよい。鑑賞の作法を教えられるような空間がほしい。
- 小学校に模型を展示したり、施工中の現場見学会などがあると、子どもたちはとも興味を持つと思う。
- 映像による教育は大事である。視覚で美術を楽しく学ぶための設備的な仕掛けを考えてほしい。

【運営関連】

- 子どもの入館料無料は大変ありがたいが、小学生を一人で美術館に行かせるのは心配である。親子で美術館に来た場合に親の入館料の割引があると美術館へのアクセスの敷居が低くなってよいと思う。

【公園関連】

- 夜間の公園は非常に暗いため、特に子どもや女性は、屋外便所を使えない。
- 噴水は、見る噴水よりも子どもが遊べるような下から水が噴き出すものがよい。
- プリン山のような遊具を公園内に残してほしい。

(以上)